

2023年度

評価 A・・・十分達成されている B・・・達成されている C・・・どちらでもない  
D・・・取り組まれているが十分でない E・・・取り組みが不十分である

施設関係者評価アンケート結果

当てはまるところへ1つ〇をつけてください。

施設関係者評価

活動計画項目	評価項目	A	B	C	D	E
1 教育保育の方針	ひとりひとりを大切にした教育・保育の環境づくりがされているか。	3	8	3		
2 目標(礼儀・感性・共育・感謝・尊重)	5つの保育・教育目標が日々の生活で努力されているか。	3	8	3		
3 ひとりひとりへの配慮・助言	家庭としっかり話し合い適切な助言と連携を行っているか。	4	4	4	1	1
4 安全管理	事故・災害等安全管理について、園の対処方法は適切であるか。	3	7	4		
5 衛生管理	清潔で快適な環境で、季節に応じて疫病予防が行われているか。	6	6	2		
6 子育て支援	家庭の在り方を尊重しながら専門性をもって適切な支援を行っているか。	2	9	3		
7 小学校連携	就学を見通した、近隣小学校との取り組みを行っているか。	5	6	3		
8 地域連携	地域に溶け込み、子どもたちが地域に愛着を持てるように努めているか。	3	9	1		1
9 設備	園舎・園庭・遊具・玩具等適切に管理配置されているか。	3	9	1	1	
10 健康	基本的な生活習慣を年齢にあった形で身につけていく。全身や手指を使って楽しく遊ぶ。	5	7	2		
11 人間関係	保育教諭と信頼関係を築き、安心して遊ぶ中で友達とかかわり、ルールを守ることや、集団で楽しく過ごすことができるようになる。	5	6	2	1	
12 環境	生活や遊びの中で、おもちゃや、虫、植物などとふれあい、身近なものへの興味や関心をもつ。色・形・量・数などに気付き遊びに取り入れていく。	5	7	2		
13 言葉	保育教諭の読み聞かせやうた、日常のあいさつや言葉かけによって、言葉のやり取りや自分の思いを言葉で伝えられるようになる。絵本など物語を聞いてイメージを広げることによって表現の楽しさや共感性を育てる。	4	7	3		
14 表現	言葉やリズム、製作を通して思いや気持ちをいろいろな形で表現できることを学ぶ。	6	6	2		
15 食育	安心できる人間関係の中で、安全な食材をシンプルな調理法で、発達に応じた形で食べる。楽しい雰囲気の中、マナーや食材への興味を育てる。	4	8	2		

回答者：保護者会役員等  
14名

分析	15項目全体ではA・B評価が80%あり、概ね活動計画は達成されていると思われます。ひとりひとりへの配慮・助言の項目は評価にバラつきが見られます。
改善点	E評価・D評価がある項目について、何が欠けているのか、保護者の不満はどこにあるのか検討し、改善していきます。

# 自己評価結果報告書

2023年9月30日

報告者氏名

横山雅之

## ①全体評価

5月の新型コロナ感染症の分類見直し後、感染状況に注視しつつ、日常の活動をできるだけ交流を意識したものに変わっています。子どもたちの笑顔が増えているように思います。

## ②学校評価の個別評価

### 1 教育課程・指導

園児一人一人の人格を尊重し、園の状況を踏まえた教育保育目標等が設定されている。

### 2 保健管理

法定の学校保健計画の制定。乳幼児の病気やケガ等の情報提供が行われている。  
毎日の体温記録・手洗い・消毒等保育環境の衛生管理が徹底管理されている。

### 3 安全管理

毎月の避難訓練等を通して、全職員・園児の安全対応能力の向上を図るため、取り組んでいる。

### 4 特別支援教育

特別な支援が必要な乳幼児のために、支援施設や学校との交流が図られている。  
また、保護者の思いに寄り添いながら、発達に即した指導がなされている。

### 5 組織運営

明確な運営と、園長・副園長・教頭・主幹保育教諭という基本体制が整っており信頼を得ている。

### 6 研修(資質向上の取組)

園内研修を毎月行い、外部のリモート研修も取り入れながら保育の質を高める努力をしている。

### 7 教育目標・学校評価

園の状況を踏まえ、教育保育の目標を設定している。

### 8 情報提供

ホームページ・電子連絡帳・パピーナ(園だより・クラスだより)や玄関でのお知らせボードなどで積極的に情報提供を行っている。  
緊急時にはメールによる一斉配信を行う。

### 9 保護者・地域住民との連携

今年度は徐々に保護者参加行事も再開しているが、地域の老人施設とは感染予防のため控えている。

### 10 子育て支援

未入園児の子育て支援を月3~4回行っている。

### 11 預かり保育

事前に保護者と子どもの様子や生活面での連携を取り、子どもが安心して過ごせるように、必要に応じて受け入れをしている。

### 12 教育環境整備

年齢に合わせた遊具・用具等の維持管理、また生活環境の整備に努めている。

## ③その他必要な評価

### その他1 食事に関する安全事故防止

発達に合わせた食材の提供と援助を適切に行っている。食育アンケート実施(8月)

### その他2 食中毒や感染の予防

感染症に関する啓発(チラシの配布)・マニュアルの確認は年間を通して職員会で確認している。

### その他3 不適切保育の防止

今年度から全国保育士会の'人権擁護のためのセルフチェックリスト'を導入し、自己評価と相互確認により人権の認識を高めていく研修を行っています。

## ④課題と検討

不適切保育への未然防止対策を推進させ、いかにして園児ひとりひとりの人権を守っていく取り組みをしてまいります。

2023年度 自己評価チェックリスト 保育教諭 (結果報告)

【記入の仕方】 よく出来ている=◎ ほぼ出来ている=○ 努力が必要=△

分類	No.	内容	9月 (回答数: 全8)			記入無	
			◎	○	△		
A 発達・ B 教育	1	見通しをもった保育をしている (保育実施計画に記入)		5	1	2	
	2	子どもの発達、興味に沿った保育内容であり、子どもが意欲的に遊んでいる	1	7			
	3	子ども一人ひとりの理解を深め、受容しようと努めている	a	子どもの思いを大切にしながら対応している	2	6	
			b	子どもが理解しやすい温かな言葉づかいで、その子に聞こえる程度の声の大きさを話している		8	
			c	自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみ取るよう、努力している	2	6	
			d	「早くしなさい」とせかせす言葉や「だめ」「いけません」などの制止や禁止の言葉を不必要に用いないようにしている		5	3
			e	「できない」「やって」などと言ってくる子どもに対して子どもの状況に応じて温かく対応している		8	
			f	保育士として、子どもが安心して話したくなるような雰囲気をもっている		8	
			g	子どものサインを見逃さず、対応している	1	5	2
	4	遊びに入れない子どもや、全体の安全に気を配っている	1	7			
5	遊びや生活を通じて人間関係が育つように配慮している	a	子ども同士の関係を良くするような言葉かけをしている		7	1	
		b	けんかの場面では状況を適切にとらえ、双方の思いを聞き丁寧に対応している	1	7		
		c	年齢に応じた社会的ルールを身につけていくように配慮している		8		
		d	子どもが保育士の手伝いをしたり、友だちを助けたり、協力しあう場面がある	1	7		
6	保育士自身が一緒に身体を動かしながら、楽しんで保育している	2	6				
7	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています		7	1			
8	子どもが危険な遊び方が分かり、安全に気を付けて行動するように指導していますか。	1	7				
9	生活のリズムを整え、基本的な生活習慣が身に付くように配慮しながら保育をしていますか。		8				
10	子どもが落ち着いて食事を楽しみ感謝の心が育つように指導していますか。	1	6	1			
C 保健 衛生	11	子どもが快適に過ごす為の環境が整っている		8			
	12	廊下に落ちている物を拾ったり、トイレのスリッパを揃える意識をしている	1	7			
	13	室内の衛生、クラス廻りの清掃を心がけ、気持ちの良い環境作りをしている		8			
	14	保育室やトイレを清掃し、子どもが安全で活動しやすい環境を保つ配慮をしていますか。		8			
	15	室内の温度や湿度、換気をチェックしていますか。	1	7			
	16	身長、体重など定期的に計測し、子どもの発育状況を把握していますか。	2	6			
D 連携	17	突発的な状況に対して適切な対応ができています		4	4		
	18	職員間の連携がとれている	a	保育士間の信頼関係ができています	2	6	
			b	保育についての話し合いがなされ、意思統一ができています	1	7	
			c	それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	2	6	
	19	保護者の思いを理解するように努め、ていねいに連携を進めている		6	1	1	
20	保護者と子どもに笑顔であいさつをし、気持ちの良い受け入れをしている	2	6				
21	来客や地域の方に、積極的に声かけをしている	1	5	2			
E 資 質 向 上	22	園の保育理念、基本方針を正しく説明することができますか。		6	2		
	23	職務上知り得た子供に関する情報について家族や友人にも話さないようにしていますか。	5	3			
	24	子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育ができていますか。		8			
	25	子どもの命を守るため玩具や遊具の安全管理と子どもの行動から目を話さないよう責任を持った保育をしていますか。	3	5			
	26	自己評価等で課題を見つけ、その課題の解決のために計画的に自己研鑽をしていますか。		5	3		
	27	研修に参加したり、専門書を読むなどして知識や技能の向上に努めていますか。		5	3		
	28	あなたは保育士としての人間性や倫理観を高めるために自己研鑽に努めていますか。	1	5	2		